

小学校2, 3, 5年生の演目

メモリー 『見えない思い出』

小学校2, 3, 5年生の演目の題名は、「見えない思い出（メモリー）」。

20年ぶりに再会した友達どうしが、秘密基地に埋めた「お宝」にまつわる記憶を取り戻していくお話です。

2年生と3年生は子ども時代の、5年生はその20年後の姿として演じました。過去と20年後が行き来するお話の構成に対し、はじめのうちは、それぞれの役がペアとなって「どうすれば同じ人物として見えるか」と、動きやセリフ回しを考えていました。

練習が進むにつれ、自分のセリフがない所でどう演技するか、それぞれの人物の背景にある気持ちの揺れ動きをどう表現するか等、自分たちでどんどん考え、アレンジを加えていく姿が印象的でした。

また、5年生を中心に劇団名を考えたり、ロゴマークをデザインしたバッジを制作したりしながら、気持ちを高めていました。劇団名として決まった「モモタマナ」は、母島では珍しく紅葉する樹木ということで「自分たちも学芸会本番で`紅葉、できるように がんばろう」という思いが込められています。



本番も落ち着いて堂々と役を演じきり、最後のオリジナルソングも明るく元気に歌い上げました。



←劇団「モモタマナ」
のロゴマーク